

# パネルディスカッションⅡ

精神障害のある社員の職場定着を進めるための  
情報共有ツールの有効活用について



## 【コーディネーター】

相澤 欽一(宮城障害者職業センター 主幹障害者職業カウンセラー)

## 【パネリスト(話題提供順)】

境 浩史(株式会社島津製作所 人事部 マネージャー)

前山 光憲(株式会社湘南ゼミナールオーシャン 宮崎台事業所 事業所長)

千田 若菜(医療法人社団ながやまメンタルクリニック 就労支援担当(臨床心理士))

中川 正俊(田園調布学園大学 人間福祉学部社会福祉学科 教授・精神科医)

## 精神障害のある社員の職場定着を進めるための 情報共有ツールの有効活用について

精神障害者の就職件数は年々増加していますが、職場定着面の課題が指摘されています。このため、障害のある人が自身の状況や企業に望みたい配慮事項などを整理し、企業に伝えられるよう支援する取組も行われています。このような取組により、企業が障害のある人の個別状況を踏まえた適切な雇用管理を行うことが期待されます。

ただし、このような情報が提供されても、障害のある人が職場に配置されたばかりの頃は、お互いに気軽なコミュニケーションがしにくいため、職場の上司や同僚がその日の本人の状況を把握できず、適切な対応が遅れる場合もあります。また、そもそも障害のある人の特徴や望まれる配慮などが説明されず、どのように接したらよいか悩む企業も多いようです。

このような問題意識を踏まえ、障害のある本人が自身の状況を日々見える化し、その情報を支援者や企業と共有することによって職場内での円滑なコミュニケーションを図ると共に、早期に適切なセルフケア、ラインケア、外部機関の支援に繋げることを目的とした各種ツールの開発・普及がなされています。

その一方、①企業からツールの利用を提案する際の問題、②ツールを使用したコミュニケーションに慣れていないことで生じる問題、③ツールをカスタマイズするノウハウが支援者や企業にない場合の問題、などツールを利用する際に留意すべきいくつかの課題も残されています。

本パネルディスカッションでは、これらのツールを紹介した上で、各種ツールの共通点と相違点、利用上の留意点、ツール活用による雇用継続の効果や雇用の質の向上などについて議論したいと思います。

コーディネーター

相澤 欽一

宮城障害者職業センター 主幹障害者職業カウンセラー

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| パネリスト | 境 浩史 氏                           |
|       | 株式会社島津製作所 人事部 マネージャー<br>(京都府京都市) |

企業において、精神・発達障害者の就労・定着支援のみならず、在職中にメンタル疾患を発症した社員の情報共有ツールとしてSPISを使用しています。上司・担当者・人事管理監督者、外部相談員がSPIS上で連携し早期対応を図っています。また、評価項目をグラフ化したデータを産業医面談に情報提供するなど就労・定着支援に活用しています。SPISの活用の工夫や使用して感じた効果、感想、今後の課題など具体的事例を挙げてご紹介します。

|       |   |
|-------|---|
| パネリスト | 前山 光憲 氏                                 |
|       | 株式会社湘南ゼミナールオーシャン 宮崎台事業所 所長<br>(神奈川県川崎市) |

K-STEPは、本人が自分の状態を言語化し把握する、状態を同僚や上司に報告する、状態に応じた対処法を身につけることを補助するツールです。K-STEPを体調管理やセルフケアの第一歩と位置づけて、本人の自主的な取組により勤怠を安定させることを目的として利用しています。こうした経験から、K-STEPを使用する際の留意点やメリット・デメリットなど気付いた事等についてご紹介します。

|       |  |
|-------|--|
| パネリスト | 千田 若菜 氏                                    |
|       | 医療法人社団ながやまクリニック 就労支援担当 (臨床心理士)<br>(東京都多摩市) |

医療機関の就労支援担当として出会う、各種ツールの活用事例を通じて感じた、ツールを使った支援における課題やメリット・デメリットなどについてお話しします。また、医療機関の立場から、ツールを医療との連携に活用する際の工夫や留意点についてもお話しします。

|       |  |
|-------|--|
| パネリスト | 中川 正俊 氏                                    |
|       | 田園調布学園大学 人間福祉学部社会福祉学科 教授・精神科医<br>(神奈川県川崎市) |

精神科医として精神科医療と就労支援や雇用管理との連携の視点から、ツールについての意見や精神科医療機関と就労支援機関との今後の情報共有のあり方、さらには精神障害のある方等の就労パスポートなど様々なツールの連動による取組の可能性などについてお話しします。

